こんにちは 加藤ひろし です

第110号

私の活動地域
晴海・勝どき・豊海町
築地・浜離宮庭園

くらしや区政のご相談
お気軽にお電話ください
３５５１－６８２０（事務所）
３５３３－０５８３（自宅）

日本共産党中央区議会議員　私のブログもご覧ください『こんにちは加藤ひろしです』で検索！

「区民が主人公」の区政へ より良い暮らし平和への思い実現する年に

新しい年２０１９年を迎えました。今年もよろしくお願いします。

１月14日、「中央区新成人のつどい」が開催されました。今年、中央区の新成人は８４８人（男性４２６人、女性４２２人）になり、昨年（８４９人）とほぼ同数でした。式典には５２２人の新成人が参加しました。

日本共産党区議団は、式典を前に新成人のみなさんへお祝いと連帯のメッセージを送りました。（写真）

私（加藤ひろし）は「人生の新たな門出を迎え、仕事や勉強、生活など将来への思いをめぐらせていることと思います。」と祝福し、「日本共産党は一人一人が大切にされ、希望を持って生きられる社会、若い方々と力を合わせ築いていく政党です」と紹介。「よりよい暮らしと平和への思い、その実現に向けともに考え、力を合わせましょう」と呼びかけました。

会場前でお祝いと連帯のメッセージを送る区議団。
右から志村・小栗・加藤(私)。

２０１９年１月から３月末までの主な議会日程（予定）

★区議会第１回定例会
２月２２日から３月１９日まで
一般質問は２月２５・２６日

★２０１９年度・予算特別委員会
３月５日から１５日まで

★１月３１日から２月２１日まで
「各種委員会」開催

１月３１日　議会運営委員会
（常任委員会）
２月　８日　企画総務委員会
１２日　福祉保健委員会
１３日　区民文教委員会
１５日　環境建設委員会
（特別委員会）
２月１８日　子ども子育て・高齢者対策特別委員会
１９日　築地等地域活性化対策特別委員会
２０日　防災等安全対策特別委員会
２１日　東京オリンピック・パラリンピック対策特別委員会

＊注＊
常任委員会・特別委員会は午後１時30分開会。
定例会（本会議）は午後２時開会。
予算特別委員会は午前10時30分開会です。

憲法9条改憲反対　消費税１０％への増税ストップ

日本共産党中央区議団ニュース
2019年１月上旬号　中央区築地１－１－１
電話３５４６－５５６３，ＦＡＸ３５４６－９５７０

高すぎる国保料（資料編）

こんなに高い国保料 均等割・平等割（世帯割）をなくせば

左の図表を見てください。均等割・平等割（世帯割）をなくせば、保険料は大幅に引き下がり、協会けんぽ並みになります。

「人頭税」と同じ「均等割」「平等割（世帯割）」を廃止し、国保料を協会けんぽ並みに引き下げすることが出来ます。

●均等割・平等割（世帯割）をなくせば、保険料（税）は大幅に引き下がり、協会けんぽ並みになります。

試算例。給与年収の場合は、同収入の協会けんぽ保険料を掲載。

○給与年収400万円・４人家族（30歳代の夫婦＋子２人）

東京都特別区	：42万6,200円➡	（廃止後）22万2,200円	（協会）19万8,000円
大阪市	：41万9,500円➡	（廃止後）26万0,400円	（協会）20万3,400円
京都市	：39万7,400円➡	（廃止後）24万2,000円	（協会）20万0,400円
札幌市	：41万3,500円➡	（廃止後）28万0,700円	（協会）20万5,000円

○給与年収240万円・単身者（20歳代）

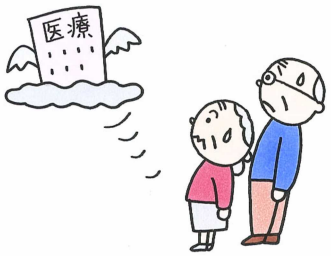
東京都特別区	：16万2,600円➡	（廃止後）11万1,600円	（協会）11万8,800円
大阪市	：20万2,200円➡	（廃止後）13万0,800円	（協会）12万2,000円
京都市	：17万7,200円➡	（廃止後）12万1,500円	（協会）12万0,200円
札幌市	：20万5,600円➡	（廃止後）14万0,900円	（協会）12万3,000円

○年金収入280万円（夫：230万円、妻：50万円）・高齢者夫婦世帯

東京都特別区	：15万5,000円➡	（廃止後）７万3,400円
大阪市	：16万6,600円➡	（廃止後）８万6,000円
京都市	：15万1,100円➡	（廃止後）８万0,000円
札幌市	：16万2,600円➡	（廃止後）９万2,700円

○所得300万円・自営業・３人世帯（30歳代の夫婦＋子１人）

東京都特別区	：40万7,700円➡	（廃止後）25万4,700円
大阪市	：42万8,300円➡	（廃止後）29万8,500円
京都市	：39万9,500円➡	（廃止後）27万7,400円
札幌市	：43万1,800円➡	（廃止後）32万1,700円



右の表は「市町村国保の保険料と加入世帯の平均所得」の推移です。１９９１年と比べて、一人あたりの国保料は６・５万円から９・４万円にひき上がっています。しかし、同時期に国保加入世帯の平均所得は２７６万円から１３８万円に半減しています。

国民の４人に１人が加入し、国民皆保険制度の重要な柱を担うべき国保が、たいへん重い負担を強いる制度になっています。高すぎる保険料問題を解決することは、住民の暮らしと健康を守るためにも、国保制度の持続可能性にとっても、社会の公平・公正を確保する上でも、重要な政治問題です。

市町村国保の保険料 加入世帯の平均所得の推移

年度	被保険者1人当たり保険料（円）	加入世帯の平均所得（万円）
1985	43,357	186.8
1990	62,092	240.5
1991	65,284	276.5
1995	70,620	230.8
2000	79,123	197.5
2005	80,352	168.7
2010	88,578	145.1
2015	92,124	139.6
2016	94,140	138.8

注）2000年度以後の保険料には「介護分」が含まれる
出典：厚労省保険局『国民健康保険事業年報』各年度版、同『国民健康保険実態調査報告』各年度版

２０１８年「区民アンケート」に寄せられた声を紹介します。（最終回）

【12】日本共産党へのご意見やご要望など

@共産党は全く正しいけど、今のままでは議員数は増やせない。妥協ではなく柔軟性があっても良い。私もがんこさが○山の友達が離れてしまいました。（80代以上）

@日本は広島と長崎に原爆を投下され、多大な被害を受けているのに安倍総理大臣は、被核散防止条約にサインする事をこばんだのは、絶対に納得できない話しで有り、一日本人として疑問に思います。（70代）

アンケートへのご協力ありがとうございました。頂いたご意見やご要望は、議会活動にいかさせて頂いております。

お願い

区議団は、２０１９年「区民アンケート」の準備を進めています。

配布は2月上旬を予定しております。引き続き「区民アンケート」へのご協力をお願いします。